

まちづくりコーディネーターの活動状況について （8月20日現在）

1 活動報告

《令和6年度実績 6件》

関係先	派遣内容	人数	出勤回数
自治会	①築地地区長との意見交換	2	1
市	②「まちづくり講座・学習編」（市民協働課） グループワークに市民役として参加	6	1
	③ファンドレポートの作成（市民協働課）	2	1
	④「協働のまつり場」（市民協働課） 以下のテーマに関する意見交換への参加 ・地域全体で公園愛護会活動に取り組むには（広報の仕方について） ※テーマ担当課：公園緑地課	3	1
	⑤東刈谷地区へのヒアリング（市民協働課） まちづくりステップアップ講座第2回「ヒアリング、インタビュー技術」の学びの実践	4	1
その他 団体	⑥実行委員会のファシリテーション（ワールド・スマイルカーデソーツ木）	2	1
合計		19	6

2 まちコ交流会

（1）第1回

日 時：令和6年6月22日（土） 15：15～17：30

場 所：刈谷市民ボランティア活動センター

参加者：まちコ10人、一般7人（市民活動団体、NPO 法人、自営業ほか）、
世話人1人、市まちづくり推進課2人 計20人

内 容：第1部 まちコと交流

第2部 参加者同士が知り合う・つながる

（2）第2回

日 程：令和6年秋頃開催予定

内 容：まちコ活動収穫祭

【裏面あり】

3 つなぎの学び舎・リカレント まちづくりステップアップ講座

【詳細は資料１－２参照】

既に「まちづくり活動をしている人（まちコ含む）」が実践に役立つ力を高めるための講座。今年度は４月～３月の全６回で、単発参加可能。

※まちづくりコーディネーター養成講座は、昨年度より基礎編・実践編の２か年に渡る仕組みを一本化し、１年の受講で修了できるよう再編されている（隔年開催）。

（１）第１回【まちコ限定】令和６年４月２０日（土）

「まちコの総会をやろう！企画会議～会議のデザイン、場づくりの準備～」

まちコの総会（仮）の開催を題材に、企画会議を行いながら、場のデザインについて学んだ。参加者６人。６月に実施したまちコ交流会「まちとまちコの交流会」の企画書が出来上がった。

（２）第２回 令和６年５月２５日（土）

「ヒアリング、インタビュー技術を学ぶ」

「聴く」ことについて体験から学ぶとともに、ヒアリングやインタビューの準備、また心掛けることについても学んだ。参加者１１人（うちまちコ１０人）。

（３）第３回 令和６年６月２９日（土）

「チラシの作り方～canva（キャンバ）の使い方を学ぼう！～」

「canva（キャンバ）」の使い方及び効果的なチラシの作成方法について学んだ。参加者６人（全員まちコ）。

（４）第４回 令和６年１２月１４日（土）

「会議のデザイン、場づくりの準備」

（５）第５回【まちコ限定】令和７年２月１日（土）

「実行委員企画会議 会議のデザイン、場づくりの準備～まちコ交流会を企画しよう！～」

（６）第６回 令和７年３月１日（土）「課題の整理・構造化」

つ な ぎ の 学 び 舎 ・ リ カ レ ン ト

【まちコ限定】まちコの総会をやろう！

企画会議～会議のデザイン、場づくりの準備～

2024 年 4 月 20 日(土)9:30～12:30

まちづくりコーディネーター(まちコ)の活動を市民に知ってもらい、まちコとの交流を図る場づくりを考えます。「まちコの総会(仮)」の開催を題材に、企画会議を行いながら、場のデザインについて学びます。

ヒアリング、インタビュー技術を学ぶ

2024 年 5 月 25 日(土)9:30～12:30

「相手の話を“ちゃんと”聴く”ってどういうことでしょうか？
簡単なようで、実は奥が深い「聴く」ことについて体験から学びます。ヒアリングやインタビューの準備、また心掛けることについても考えていきます。

キャンバ
チラシの作り方～canvaの使い方を学ぼう！～
2024 年 6 月 29 日(土)13:30～16:30

チラシ作りに便利で簡単、おススメな「canva(キャンバ)」の使い方を学び、地域活動やまちづくりでちょっとオシャレなチラシを作ってみませんか？

★当日は、WiFiに接続可能なPC/タブレットを持参してご参加ください。

会議のデザイン、場づくりの準備

2024 年 12 月 14 日(土)13:30～16:30

会議のお悩み(一部の人しか意見を言わない、脱線して話がまとまらないなど)の多くは会議のデザインと準備で解決できます。効果的な会議の場づくりについて学びます。

【まちコ限定】実行委員企画会議

会議のデザイン、場づくりの準備～まちコ交流会を企画しよう！～

2025 年 2 月 1 日(土) 13:30～16:30

まちコの活動を市民に知ってもらい、まちコとの交流を図る場づくりを考えます。次年度に開催する「まちコ交流会(仮)」を題材に、企画会議を行いながら、場のデザインについて学びます。

課題の整理・構造化

2025 年 3 月 1 日(土) 13:30～16:30

多様な意見が出てきたときに、どのように意見を整理するとよいでしょうか？意見に込められた想いを引き出し、新たなアイデアを創発する整理法、課題の見える化について学びます。

まちづくり
ステップアップ講座

地域の活動が
もっと活発に
なったらいいな！

「場づくり」のコツを
学ぶと、活動が
スムーズに進むね！

聞き上手になって
周りの人を
支えたい！

まちづくり
活動する人を
応援したい！

【会場】
刈谷市民ボランティア活動センター
(刈谷市東陽町 1-32-2)

まちづくりは、「一人の20歩」より、「20人の一歩」の方が 効果も楽しさもアップします！

刈谷のひとやまちを元気にしたいと思っている人が集まって、学び&語り&交流を深め、さまざまな人や団体とつながることで、楽しみながら地域の困りごとを解決していく力を育てていきます。

地域活動・PTA・ボランティア・学習サークルなど、まちづくり活動での実践に役立つ力を高める講座です。



全体ファシリテーター いなば ひさゆき 稲葉 久之 さん

大学で国際開発学を学び、青年海外協力隊、NGO などアフリカで5年間活動。その後、国内まちづくりNPOや地方創生事業に従事し、2017年からフリーランス・ファシリテーターとして活動。大学の非常勤講師（愛知淑徳大学、金城学院大学、日本福祉大学、南山大学、名古屋市立大学）、特定非営利活動法人アイキャン理事

まちづくりコーディネーター（つなぎびと）とは？

- ・まちづくりコーディネーターは、刈谷市民の誰もがいきいきと輝いて暮らせるまちにしていくなめのお世話役です。
- ・「まちづくりを“他人ごと”にせず、“自分ごと”として取り組む人を刈谷で広げる工夫をしていくひと」「地域活動やボランティア・NPO活動等を行っている団体同士、また、企業や大学等とのつながりづくりをサポートするひと」です。刈谷市では、そんな「つなぎびと」となって、魅力的なまちづくりを進めていきたい人たちが出会い、学びあう『つなぎの学び舎』を実施しています。



参加者募集要項

対象者	刈谷市で自治会・女性の会・子ども会・公民館活動といった地域活動や、ボランティア・NPO活動などのまちづくり活動をしている人
定員	30名程度 ※【まちコ限定】については、まちコ登録している方のみ受講可能です。
参加費	無料
申込方法	・所定の申込用紙に必要事項を記入して、郵送、FAX、メールまたは直接、刈谷市市民協働課へお申込みください。単発での参加申込も可能です。 ・申込用紙は、市民協働課窓口、刈谷市民ボランティア活動センターで配布しているほか、刈谷市ホームページからもダウンロードできます。 ・申込期間終了後、書類選考を行い、その結果を全員にご連絡いたします。
申込締切	★前期：5月12日（日） ☆後期：12月1日（日）

■申込先・問合せ先

刈谷市役所 市民協働課 〒448-8501 刈谷市東陽町1-1

【TEL】 0566-95-0002 【FAX】 0566-27-9652 【E-mail】 kyodo@city.kariya.lg.jp

【HP】 <https://www.city.kariya.lg.jp>

※この講座は、刈谷市共存・協働のまちづくり推進委員会が方針決定し、NPO法人ボランタリーネイバーズが運営支援をしています。



つ な ぎ の 学 び 舎 ・ リ カ レ ン ト

前期

ヒアリング、インタビュー技術を学ぶ

2024年5月25日(土) 9:30~12:30

「相手の話を“ちゃんと”聴く」ってどういうことでしょうか？簡単なようで、実は奥が深い「聴く」ことについて体験から学びます。ヒアリングやインタビューの準備、また心掛けることについても考えていきます。



チラシの作り方~キャンバの使い方を学ぼう！~ 2024年6月29日(土) 13:30~16:30

チラシ作りに便利で簡単、おすすめな「canva (キャンバ)」の使い方を学び、地域活動やまちづくりでちょっとオシャレなチラシを作ってみませんか？



★canva の登録を行った上で、当日は WiFi に接続可能な PC / タブレットを持参していただき、ご参加ください。

後期

会議のデザイン、場づくりの準備

2024年12月14日(土) 13:30~16:30

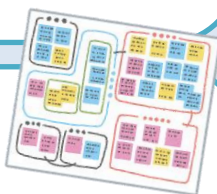


会議のお悩み(一部の人しか意見を言わない、脱線して話がまとまらないなど)の多くは会議のデザインと準備で解決できます。効果的な会議の場づくりについて学びます。

課題の整理・構造化

2025年3月1日(土) 13:30~16:30

多様な意見が出てきたときに、どのように意見を整理するとよいでしょうか？意見に込められた想いを引き出し、新たなアイデアを創発する整理法、課題の見える化について学びます。



まちづくり ステップアップ講座



地域の活動が
もっと活発に
なったらいいな！

「場づくり」のコツを
学ぶと、活動が
スムーズに進むね！

聞き上手になって
周りの人を
支えたい！

まちづくり
活動する人を
応援したい！

【会場】
刈谷市民ボランティア活動センター
(刈谷市東陽町 1-32-2)

まちづくりは、「一人の20歩」より、「20人の一歩」の方が 効果も楽しさもアップします！

刈谷のひとやまちを元気にしたいと思っている人が集まって、学び&語り&交流を深め、さまざまな人や団体とつながることで、楽しみながら地域の困りごとを解決していく力を育てていきます。

地域活動・PTA・ボランティア・学習サークルなど、まちづくり活動での実践に役立つ力を高める講座です。



全体ファシリテーター いなば ひさゆき 稲葉 久之 さん

大学で国際開発学を学び、青年海外協力隊、NGO などアフリカで5年間活動。その後、国内まちづくりNPOや地方創生事業に従事し、2017年からフリーランス・ファシリテーターとして活動。大学の非常勤講師（愛知淑徳大学、金城学院大学、日本福祉大学、南山大学、名古屋市立大学）、特定非営利活動法人アイキャン理事

まちづくりコーディネーター（つなぎびと）とは？

- ・まちづくりコーディネーターは、刈谷市民の誰もがいきいきと輝いて暮らせるまちにしていくなめのお世話役です。
- ・「まちづくりを“他人ごと”にせず、“自分ごと”として取り組む人を刈谷で広げる工夫をしていくひと」「地域活動やボランティア・NPO活動等を行っている団体同士、また、企業や大学等とのつながりづくりをサポートするひと」です。刈谷市では、そんな「つなぎびと」となって、魅力的なまちづくりを進めていきたい人たちが出会い、学びあふ『つなぎの学び舎』を実施しています。



参加者募集要項

対象者	刈谷市で自治会・女性の会・子ども会・公民館活動といった地域活動や、ボランティア・NPO活動などのまちづくり活動をしている人
定員	30名程度
参加費	無料
申込方法	・所定の申込用紙に必要事項を記入して、郵送、FAX、メールまたは直接、刈谷市市民協働課へお申込みください。単発での参加申込も可能です。 ・申込用紙は、市民協働課窓口、刈谷市民ボランティア活動センターで配布しているほか、刈谷市ホームページからもダウンロードできます。 ・申込期間終了後、書類選考を行い、その結果を全員にご連絡いたします。
申込締切	前期：5月12日（日） / 後期：12月1日（日）

■申込先・問合せ先

刈谷市役所 市民協働課 〒448-8501 刈谷市東陽町1-1

【TEL】 0566-95-0002 【FAX】 0566-27-9652 【E-mail】 kyodo@city.kariya.lg.jp

【HP】 <https://www.city.kariya.lg.jp>

※この講座は、刈谷市共存・協働のまちづくり推進委員会が方針決定し、NPO 法人ボランタリーネイバーズが運営支援をしています。

共存・協働による地域活動の活性化に向けた検討

【部会の協議方針】

- ・地域活動の活性化に向け、共存・協働により各自治会等では取り組まれないことについて検討する
- ・課題が具体的にになっている地域をモデルに取組を考える

1) ヒアリング日程

日時及び会場：令和 6 年 6 月 13 日（木）10 時～12 時 東刈谷市民館 2 階会議室

対応者：亀田地区長、野々山公民館長、伊藤商店街協同組合代表理事

参加者（敬称略）：【まちコ】小森、桑畑、鈴木小枝、鈴木勉（4 名）

※5/25 まちづくりステップアップ講座「ヒアリング、インタビュー技術を学ぶ」受講者

【世話人】大野、【市民協働課】前川・内藤、【ボランティアネイバーズ】三島

2) ヒアリング結果は、以下「テーマ 1 ～ 3 」のとおり。

※マーカー部分は、「共存・協働により取り組まれないこと」の好事例や種となりうる事柄である。

テーマ 1	防災イベントで、助け合えるつながりをつくる
	東刈谷地区は大きな津波が来る地域ではないため、災害に備える意識が浸透しない側面があります。しかし、安全とも言い切れない…。そこで取り組んだのは、多くの住民が集まるくお祭り型の防災イベント（＝秋の防災イベント・ワイワイフェスタ）＞と、小回りが利く共助の仕組み＜小さな組織で避難行動要支援者を助ける体制づくり＞でした。 地域における新たな取り組みは、負担が増えるのは…と躊躇されることもありますが、相手の状況に配慮した声かけ、無理のない運営、楽しさと交流の重視等により、中学生、企業、商店街等、多様な人々・組織が連携した、防災視点での地域づくりが進んできています。
東刈谷地区 基本情報	旧野田地区の分割に伴い、H27 年に東刈谷地区として誕生。新興住宅地で子育て世帯も多い。世帯数約 5,000 世帯で、自治会加入率は 68%（R6.4.1 時点）。

ポイント 1

地域特性を考慮した防災活動を考える

東刈谷地区の特性は、高層マンションも多い新興住宅地であること。そのことから、「子育て世代が多い」「公園が整備されている」「引っ越してきた人の間に自治会が浸透していない」「近所づきあいが希薄である」といった状況があります。こうした地域特性を踏まえて、従来型の防災訓練ではなく、野田公園を会場にした「お祭り型の防災イベント」を行うことにしました。



東刈谷自主防災会が R5 年に実施した「避難所・防災に関するアンケート」では…

災害時は、「避難所にとりあえず行く」が 80%、「避難所は誰が運営しているのかを知らない」が 88.6%と、自分たちで避難所を運営するという自覚はまだ低い状況です。

「自分 & 自分たちで、自分のまちをよくしていく」自律性・独創性・共助力を育む機会として、防災イベントは重要な意味を持つものと考えています。

ポイント 2

五感が満足し、人が集まるお祭り型のイベントに

災害時に助け合える関係づくりの一步は、住民同士のコミュニケーションから。でも、防災訓練だけでは人はなかなか集まりません。野田公園で盆踊りに大勢集まっているのを見て、なぜお祭りには人が集まるのか考えてみました。楽しくて笑顔になれるところに人は集まる。そのために必要なのは、五感（＝「目で見て」「耳で聞いて」「何かに触り」「においを嗅いだり」「美味しいものを味わったり」）が満足すること。お祭りには、こうしたものが揃っているのです。

そこで、歌や踊りを披露する「ステージイベント」、美味しいものが食べられる「商店街・屋台・キッチンカー」、防災を体験型で学べる「自主防災訓練」のブースを組み合わせ、一大イベントを行うことにしました。

ポイント 3

コミュニケーションが生まれる運営を工夫する

集まった人たちが触れ合い、顔見知りになる流れができるよう、ステージではキッズダンスから、チアリーディング、演歌ショー等、多世代交流ができる演目を企画しました。ステージ外では「高齢者と幼児子供の交流会」も行われています。

また、地区に東刈谷商店街があるという地の利を活かし、商店街も出店すると共に、新聞折込での広報にも協力してくれています。このことで、自治会に加入していない世帯の子どもにもフェスタのことが伝わり、来場しますが、大歓迎。そうした人たちが来てくれたら、自治会加入を呼びかける機会にもできればよい、と考えています。

防災イベントの運営には、多くのスタッフが関わっていますが、過大な負担がかからないよう時間による交代制にしています。1時間ごとに持ち場を変える等の配置をし、スタッフをする中で色々な人と知り合いになれるよう工夫しています。

ポイント 4

体験し、楽しみながらスキルが身につく自主防災訓練

自主防災訓練は、お祭りで風船釣りを楽しむように、「災害時の簡易トイレの組み立てを体験し、うまくいったらほめられて嬉しい、楽しい」といった流れで、体験しながら、楽しみながら、スキルアップをする形を目指しました。

14 のブースが設置され、自主防災会による「かまどベンチの組立法」、赤十字奉仕団による「幼児安全法（AED・心肺蘇生）」「車椅子の操作法」等、参加者同士が触れ合い、体験しながら、スキルが身につく内容になっています。簡易トイレの組み立ては、先着 50 人に啓発品を用意する等、各ブースに人を呼び込む工夫もしています。

自主防災訓練ブースの例

防災クイズラリー（朝日中学生ボランティア）
保存食の紹介（市川商事（株））
在宅避難ローリングストック活用法
（婦人 OB チアーズ）
簡易トイレの組立法（沖野 2 組自主防災会）

ポイント 5

ウィンウィンウィンで協力を呼びかける

様々な団体の協力は、回を重ねる中で 1 つ 1 つ増やしていきました。企業のブース出展も、「防災のために、会社ではどんなことをしていますか？」という話から始めて、「会社ではローリングストックを行っている」ということであれば、「それはいいことですね。“こんな取り組みをしているんですよ”、と PR に来てくださいよ」とお話します。企業の PR の場になり、且つ、来場者が体験できるプログラムもセットにして出展してもらえれば、自治会もイベントを盛り上げることができ、来場者も楽しみが増えることになります。

昨年より協力いただいている刈谷警察署からも、今年は警察署側から演目の相談があり、「ステージで警備犬

による犯人の制圧などの演目をしようか」と検討中です。相手の方が PR したいことがあればそれを活かすようにします。

ポイント 6 小回りの利く組織 + 若い力で、共助力を高める

災害が起こった時、縦割りで大きな組織を作っていても、役員が現地にたどり着けないと機能しない可能性があります。そこで、小回りの利く組織にしようと、自主防災会を 12 分会に分け、各々に会長（昨年度の組長等）、副会長（今年度の組長）、民生委員を配置した運営組織図を再編しました。各分会において、高齢者や障害者等の避難行動要支援者（避難支援等関係者に情報提供することに同意を得られた人数をカウント）は、15 人～50 人程度です。民生委員との連携を強化し、共助により有事の際一人の負傷者も出さないことを目指しています。今年度は、新組長と民生委員がテーブルごとに集まり、避難所運営ゲーム等をする顔合わせを実施しました。

さらには、先述の防災イベントを実施するに当たり、地元中学校の評議員会で協力を呼びかけました。中学生は、災害時に安否確認の大きな戦力になります。中学生にも企画から参画してもらうことで、「自分の意思で参加し、防災について自分の頭で考える」機会にもなると考え、企画運営部員 5 名、ボランティア部員 20 名を募集します。先生方もぜひやりたいとおっしゃってくれました。こうした経験が、将来まちを支えてくれる子どもたちを育み、また共助力を向上させることにもつながることでしょう。

自治会で新しい取り組みを立ち上げる時のヒント

1 データを使って必要性を伝える	各地区ごとに〇〇人、全部で 390 人要支援者がいる、といった伝え方で、その場で分会の再編成について賛同を得ました。
2 自分がやらなくちゃという不安を取り除く	新しいことを始める→役員が頑張らなければ、という不安感に陥らないよう、別の協力者を少しずつ増やし、そのことを伝える
3 みんなで決めて納得してもらう (自分が理解し、納得した上で決まることなら 不満にならない)	自分の中に解決策があっても、自分で決めるのではなく「このように困っているが、どうしたらよいと思うか」と問いかけるように心がけます
4 慎重な人には早めに情報伝達する	細かいところまで気が届き、不安を感じやすい役員もいます。そうした人には不安にならないよう、早めに話をしておきます。

会計業務を整理する、事務員を雇用する

自治会では年間で大きな金額が動きますが、それを管理する役員は2年、あるいは1年で交代する人もいます。決算を正確に行うために、また、**担当者の交代にかかわらず確実に会計業務ができる仕組みをつくっておくことが重要です**。東刈谷地区では、専門家の指導を得て、会計業務の整理を図り、また2か月に一度会計監査を行うことで、信頼できる会計業務を行う体制を作っています。

また、自治会で事務員を雇用し、市民館に配置することで、様々な住民の問合せや相談に応じると共に、書類作成等の事務を通して地区役員の負担軽減に貢献しています。

ポイント1 「引継ぎ書」「収支決算事務業務要領」で、流れを明確に

「引継ぎ書」では、前任者からの引継ぎ時に確認すべき事項、定期監査、決算報告、新役員への引継ぎ等、1年間の流れが整理・記載されています。また、「収支決算事務業務要領」では、パソコンでの費目管理業務、収入・支出調書の番号振り等の業務について、簡潔且つ具体的にまとめられ、正確な会計業務に役立っています。

<収支決算事務業務要領の項目>

1	予算書作成	5	金銭出納帳管理
2	決算書作成	6	科目別金銭出納帳管理
3	費目管理	7	決算書管理
4	収支調書作成	8	会計監査

差異が出た時に解明できる管理に

会計業務の鍵になるのは、差異が生じた時に解明し修正できること。そのために費目管理を選択式で抜けが出ないような入力設定にしたり、調書1枚ごとに1枚の領収書として番号を振ったりと、ルール遵守を徹底しています。

ポイント2 専門家の指導と定期監査で、いつでも正確な会計に

会計整理にあたっては、**地区内にお住まいの税理士さんに声を掛け、指導を受けました**。現在もその税理士事務所に監査を委託しています。特に、費目設定・管理は専門家の指導を仰いだことでルールが明確になり、予算に沿って支出を管理することが定着しました。2か月に1回2時間ほどの定期監査があり、常時、対外的に説明できる会計業務が行えるようになっていきます。

自治会業務効率化支援事業補助金 URL <https://www.city.kariya.lg.jp/kurashi/shiminkyodo/1004076/1017623.html>
刈谷市ではR6年度から、下記の取り組みに補助金を交付する仕組みを作っています。本事例で紹介したような業務効率化にお役立てください。

- デジタル推進事業（自治会ホームページ作成等）
- 会計事務支援事業（会計監査の外部委託等）
- 業務効率化事業（事務員雇用費等）

ポイント3 事務員雇用で、住民・役員双方へのメリットが生まれる

事務員が平日9時～12時まで市民館に常駐することで、市民館の予約・使用、問合せ相談等、住民の利便性が増します。自治会加入手続きも担当しており、同時に、自治会加入率が7割あると、平日午前中雇用する費用が賄えると算段しています。**事務員は、書類作成・管理の事務も担っており、地区役員の負担を軽減しているほか、役員が交代しても運営業務や1年の流れが頭に入っているため、心強い助言役にもなっています**。

地域課題（要望）情報提供・改善活動のフローを整理

側溝の改修、横断歩道の白線、防犯カメラの不備等について、個人がバラバラに市に要望しても、対応がスムーズにいかないことも多いものです。

東刈谷地区では、地域課題（要望）の情報提供・改善活動について、班内で調整・合意して、要望書を作り、また、要望への市の回答について地区内に報告をするという一連の流れを整理しました。特に、側溝についての要望では、対応の優先順位を数値化したり、要望に関わる住民への説明や地区長・組長が確認する事項について、わかりやすい写真付き資料を作ったりと、みんなが納得した上で地区の意見として要望できる工夫をしています。

ポイント 1 地区の課題として要望できるよう、業務フロー図をつくる

地域課題（要望）の情報提供・改善活動について、13 の段階に分け、一連の流れとすべきことが一目で分かるよう、担当者や作業内容を含めた 1 枚のフロー図を作っています。このことにより、地域課題を地区の意見として要望書にまとめ、市担当部署に届ける方法が定着するようになってきています。

1	問題提起	8	要望書提出
2	班内調整合意	9	管理 No. 入力
3	要望書作成	10	結果回答
4	要望内容検討	11	結果情報入力
5	要望内容承認	12	報告資料作成
6	市議への説明	13	結果回答報告
7	情報管理		

要望した状況・結果が確認できる！

改善実施結果は、地区委員会※及び、組・班内・提案者に報告される仕組みとなっており、改善提案を自治会のウェブサイトでも見られるので、要望の進捗状況や、地区で要望することのメリットを実感できます。

※地区委員会（役員、組長が集まる会議）：毎月 1 回土曜 18 時～19 時半

メンバー全員が出席できるよう、現役世代の仕事終わりの時間から間に合うように設定しています。

ポイント 2 優先順位と評価点の考え方を設定する

通学路・学区内の危険箇所改善要望は、毎年実施していましたが、2021 年 10 月に登校中の小学生がケガを負った交通事故を機に、再度、危険箇所調査を行い、「通学路の安全対策要望書」を市へ提出しました。その際、多くの対策箇所をどの順番で対応してほしいと要望するか、地区内で優先順位付けの考え方が必要となりました。地区として住民の合意を得るためには、住民が納得できるような考え方であることが必要と考え、市担当部署の助言を得て、「通学路の側溝等安全対策の優先順位と評価点の考え方」を設定しました。

優先度Ⅰ	通学路の不安全箇所（側溝蓋なし、蓋破損、段差箇所など）対策
優先度Ⅱ	老朽化による排水機能不良箇所（側溝割れ、傾き、陥没など）対策
優先度Ⅲ	景観破壊箇所（側溝蓋、グレーチング上に私物設置など）対策

各項目について 0～10 点で評価し、合計点をつける → 優先順位づけが一目瞭然に！

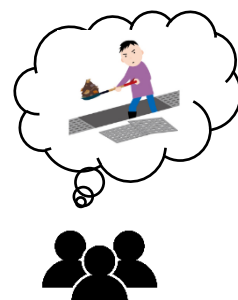
例えば、側溝入替えについての「通学路指定の状況」という項目では、10 点＝全体が通学路、7 点＝半分以上、4 点＝半分以下、0 点＝支障なしといったように指標を設け、上記の優先度の中で評価点の合計点にて年度計画の優先順位をつけます。

さらに、それらの進捗管理の一覧表もあり、各項目の改善がいつ行われた（る）かを確認することもできます。

ポイント3 ビジュアルに訴える説明資料で住民の同意を作りやすくする

側溝入替え工事の要望書を出す際には、側溝工事区域の道路に面した全居住宅の住民の同意を得なければいけません。また、通学路の安全確保のために電柱が民地側に寄ること等への了承が必要になる場合もあります。

そこで、東刈谷地区では、具体的な写真付きで住民に説明しながら、同意の確認印を入れられるシートを作成。これにより、住民は入替え後にどんなことが起こるかを理解した上で、意志が示せるようになります。また、このような資料があることで、班内の調整・合意も進みやすくなっています。



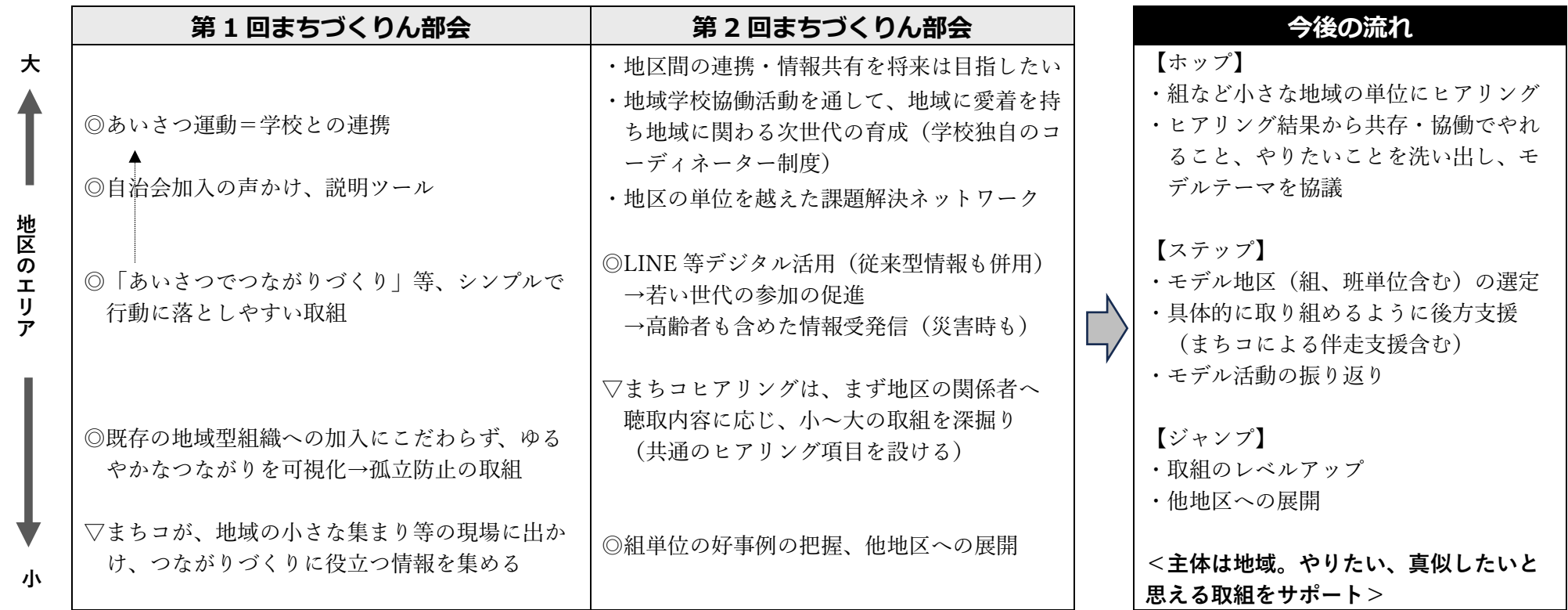
まちづくりん部会 令和5年度の協議概要と今後について

参考：令和5年度第3回推進委員会資料

【部会の協議方針】

- ・地域活動の活性化に向け、共存・協働により各自治会等で取り組まれるとよいことについて検討する
- ・課題が具体的になっている地域をモデルに取組を考える

◎まちづくりのテーマ ▽まちコの活動 ・その他意見



<5つの地域から抽出できそうな「共存・協働のまちづくり」のテーマ>

（交付金有）は、元気な地域応援交付金を活用した地区

小山地区（交付金有）	重原地区（交付金有）	高須地区（交付金有）	築地地区	東刈谷地区
・住民会議で協議（自治会のメリット発信、SNS活用、ボランティア活用役員業務細分化） ・地域情報発信が活発	・令和5年度住民会議を実施「地域の自主活動活性化」 ・公民館自主サークルを軸とした住民参加の裾野を広げる	・多世代交流による地域活性化 ・ボラ団体（高須のがっこう）を自治会が応援して活性化	・刈谷で一番若い地区 ・地区長が活動に意欲的で（9月まちコ交流会に参加）、まとまりがある地区	・新興住宅地の良い点・問題点を可視化→対策づくり ・イベントを通して顔見知り→地域防災力強化

地域活動・ボランティア活動の お悩み解決を…

まちづくりコーディネーター が

現場でお手伝いします！



地区の夏祭り。子育て世代にたくさん来てほしい。どうしよう？

楽しい企画会議
のお手伝いをします

ボランティアグループの学習会。上手に進行できるか不安…

当日の進行の
サポートをします

イベントの様子を記録し、協力者への報告や来年の参考にしたい

取材・記録づくり
をサポートします

お問合せは 刈谷市市民協働課へ

まちづくりコーディネーター 依頼から派遣までの流れ

お手伝いに
きてほしいと
思ったら…



その1 申込み

申込用紙に必要事項を記入のうえ、FAXまたはメールにて市民協働課にご提出ください。

その2 事前確認

申込用紙をもとに、依頼する内容を整理・確認します。依頼内容に応じて派遣者が決まります。

※ご希望に添えない場合があります。



**まちづくり
コーディネーターは
こんな人**



まちづくりコーディネーター（まちコ）は、刈谷の市民誰もがいきいきと輝いて暮らせるまちにしていくなめのお世話役の登録制度です。この制度が目指すのは、地域の課題を人任せにせず「自分ごと」と考えて行動する人が増えること、また、いろいろな組織が協力して取り組む「共存・協働のまちづくり」です。

まちづくり活動の企画や運営の仕方、気兼ねなく語り合える対話の場づくり等を学ぶ「つなぎの学び舎」を修了した人が大半です。老若男女、いろいろな活動歴や特技を持つ人28名が登録しています（2024年4月現在）。

これまで、住民会議や、学習会の進行、かりや夢ファンド補助金採択事業のレポート作成など、さまざまな活動を行ってきました（右ページ）。

Q1 誰でも依頼ができますか。困っていることは何でもお手伝いしてもらえますか？

刈谷市に在住・在勤・在学・在活（活動している）の方はお申込み可能です。まちコは、困りごとを依頼者に代わって何でも解決する役割ではなく、解決のために取り組んでいきたい人や団体と一緒に考え応援する仕組みです。依頼内容によっては、応じられないこともあります。まずはお問合せください。

Q2 複数回のお手伝いを頼むこともできますか？

単発のお手伝いも連続的なものも可能です。しかし、ずっと継続的に関わるのではなく、皆さんが取り組みたいことに参加や協力が得やすくなるきっかけづくりをお手伝いするのが制度の趣旨です。

Q3 お手伝いいただく際、費用は必要ですか？

まちコひとりにつき、1件（打ち合わせも含む）あたり3,000円の費用がかかります（交通費などの経費）。原則2人1組で活動します。その他に文具・備品などが必要な場合は、ご依頼者にご負担いただきます。

●刈谷市では、市内各地にまちコがいる状況を目指しています。ぜひ、皆さんの地区の方に、その学習や仲間づくりができる「つなぎの学び舎」の受講をお勧めください！



刈谷市 市民協働課へ（電話 0566-95-0002） 気軽にお問合せください

その3 打合せ

依頼者、まちづくりコーディネーター、市民協働課の三者で打ち合せをします。

活動内容・役割分担などを記したプランを作成します。

その4 派遣&活動

まちづくりコーディネーターが依頼者と力を合わせ、いろいろな人の参加・協力を得て活動を行います。

終了後、派遣の成果・課題についてアンケートにご協力ください。

いきいきした
市民協働の
まちづくり



まちづくりコーディネーター活動事例 & 依頼者の声

地域で行う住民会議の進行をサポート

まちコが、住民会議の進め方について、話し合いのルール（人の話を聞く、批判しない、意見は短く、など）を用いて活発な意見を交わせる会議になるようサポートします。

依頼者の声

若い人、子どもたちからとてもいいアイデアが出ました。価値観の異なる意見が合わさることで、よりよいアイデアが生まれますね。（高須自治区）



かりや夢ファンド補助金の採択事業の取材・レポート作成

かりや夢ファンド補助金の採択事業の打ち合わせや事業実施日の現場にまちコが赴き、その様子をレポートにまとめます。レポートは刈谷市ホームページに掲載し、事業をPRします。

自治会のイベントで、ゲーム等の企画運営をお手伝い

自治会が主催するイベント（災害に強いまちづくりを兼ねた「お宝さがしウォーキング」で、ゲームの考案をまちコが担当しました。

依頼者の声

「宝箱」のアイデアを出してもらったほか、ゲームを担当してもらったことで、親子で楽しめるイベントと好評でした。（西部自治区）

まちづくりコーディネーター派遣依頼申込書

年 月 日

依頼者氏名		(ふりがな) 氏 名		所属 団体等	
連絡先		住所 〒			
		電話	FAX		携帯電話
会議・イベント	名称				
	内容				
	現 状・課題				
	目標				
役割		☐ 会議の進行 ☐ 会議の記録作成 ☐ 企画アドバイス ☐ 企画書作成支援 ☐ 取材・レポートづくり ☐ その他()			
日時		年 月 日() 時 分 ~ 年 月 日() 時 分 ~			
事前面談 希望日		第一希望 年 月 日() 時 分 第二希望 年 月 日() 時 分 第三希望 年 月 日() 時 分			
その他					

【お問合せ先】刈谷市役所市民協働課協働推進係

〒448-8501 刈谷市東陽町1-1 【TEL】0566-95-0002 【FAX】0566-27-9652

【E-mail】kyodo@city.kariya.lg.jp 【HP】<http://www.city.kariya.lg.jp/>